

港エンパワメント塾（仮称）

1. 目的

主体的に学習に取り組む姿勢を育むため学習のノウハウを学んだり、子どもの実態に応じた更なる学習指導を行い、家庭学習の習慣づくりを図る。

2. 対象

港区在住の中学生。ただし、定員を超えた場合は、塾代助成事業のクーポン利用者を優先した上で抽選を行なう予定。

大阪市では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供できるよう、学習・文化・スポーツに関する指導・教育を行う事業者で月額1万円まで利用できる塾代助成カードを交付する「塾代助成事業」を実施しています。

3. 実施場所、定員

港区5中学校区でそれぞれ1箇所、計5箇所。15名×3クラス（学年ごと）

4. 実施期間、時間

平成29年6月～3月（予定）、全95日（1週間に2～3日）
午後6時～9時（1学年1コマ50分×3学年）

5. 事業内容

次の2つの内容によって、学び直しを支援し、学習習慣づくりを促進し、自己肯定感の醸成及び学力向上を図る。

（1）国語、数学などの教科学習（1日50分、月8日、午後6～9時）

・習熟の程度に応じきめ細かい指導と学び合いによるグループ学習により、学び直しを支援する。

（2）エンパワメント学習（1日50分、年15日、午後6～9時）

・参加体験型で、学習意欲の喚起・基本的な生活学習習慣の重要性とノウハウ・学習方法や学習のマネジメント・インターネットの無料の講義等の動画やアプリの活用などICTの活用等を含む内容。

6. 実施方法

公募により事業を実施する民間事業者を選定。

不登校児童生徒支援H28、H29比較

	別室登校等サポート事業（H26～） ※H29もモデル校区以外は継続実施	不登校児童生徒アウトリーチ型 支援事業（H29）
対 象	小学5・6年生、 中学1年生 ※ただし、中学1年生は小学校で本事業 のサポートを受けていた生徒に限る	モデル校区の 小学4～6年生 中学1～3年生
サポート内容 ※下線がアウトリ ーチ型支援	別室登校支援（別室での見守り・学習 サポート） <u>登校のお迎え</u>	授業時間中の学習サポート 放課後学習支援 別室登校支援 <u>登校のお迎え</u> <u>放課後の自宅への訪問</u> <u>エルカフェへの誘導</u> その他学校の要望に基づき区が 認める支援
サポーター	現在の学校ボランティア	現在の学校ボランティア ※学校ボランティアについては、区役 所でも人材の確保に努めます 委託先の事業所（不登校支援をし ているNPO等）から配置される スタッフ

※スクールソーシャルワーカーの支援の充実については、教育委員会から派遣されるス
クールソーシャルワーカーも活用できるようにする。

芸術文化青少年育成事業

「海・川・港町・わがまち港区 I LOVE アートプロジェクト」の実施について

1. 趣旨

慶応4年（1868年）7月15日に開港して以降、市民の港として発展し、今年、開港150年を迎える大阪港を擁する港区には、海外との交易・交流の門戸としての歴史があり、他の区にはない海や川に縁のある風景や建築物、産業、人の営みや気質がある。これらの海や川をテーマとした美術のワークショップ（まちの歴史学習や作品制作等）を通じて港町であるわがまちへの愛着や誇りとともに、それらの地域資源を絵画や造形等で芸術的に表現する喜びを体感することで芸術文化への感性を育み、大阪の芸術文化を支える人材の育成を支援する

2. 内容

海や川をテーマに美術的（アートの）観点から子どもたちにレクチャーを行う美術のワークショップ（歴史学習、作品制作）を実施し、開港150周年事業イベントである天保山まつりにおいて展示する。

- ① 港とともに発展した大阪市及び港区の歴史学習と初代築港事務所所長であり大阪港築港の最大の功労者、西村捨三のひ孫であり、海・船好きで知られ中学生時代、築港に通って船の絵を描き、その作品が大阪市に寄贈されている画家、柳原良平氏作品の鑑賞と解説
- ② 地域の景観や歴史的資源の持つ魅力の発見
- ③ 港町としての歴史を踏まえ、海や川をテーマとした美術作品制作

3. 対象

中学校生徒

4. スケジュール（予定）

事業構築に向けてのヒアリング	29年2月～
事業詳細決定	29年7月
ワークショップ・作品制作	29年9～10月
作品展示	29年10月29日（天保山まつり）